



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF K O B E

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

CHARTERED FEBRUARY 17 · 1930



- ブラザークラブ：高雄（台湾） チェンマイ（タイ） 米子（西日本区）
- 国際会長主題：すべての世界に出て行こう—イクステンション、イクステンション、イクステンション
- アジア会長主題：未来を始めよう、今すぐに—ひとつのアジア、世界はひとつ
- 西日本区理事主題：志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう
- 六甲部部長主題：さらなる交流、さらなる国際、さらに活発な六甲部へ
- クラブ会長主題：クラブの伝統を踏まえ、それぞれの役割を愉しみながら、全員参加でクラブの新しい「顔」を皆で作ろう。そして、クラブに、沢山の新しいメンバーを迎え入れよう。

2013年8月

Youth Activities 強調月間

今月の聖句

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるよう
うに、収穫の主（天の父）に願いなさい。」

ルカによる福音書10章2節

8月13日(火)第1例会
日時：8月13日(火)18時～20時30分
場所：ANA クラウンプラザホテル神戸4F
カフェダイニング「ザ・テラス」
費用：3500円
開会点鐘 18時00分 進藤啓介会長
ドライバー 城 純一メン
ワイズソング
聖句朗読・開会祈祷 森 愛子メット
〔プログラム〕
・山田滋己六甲部長公式訪問
・ゲストスピーチ
神戸 YMCA 総主事 水野雄二氏
「これからの神戸 YMCA について」
・事務連絡・ハッピーバースデー
食前感謝 19時00分 森 章一メン
会食・懇談
閉会点鐘 20時30分 進藤啓介会長

8月誕生日おめでとう

16日 京極 美栄子
21日 長沢 百合子
24日 進藤 和子

7月在籍者	7月出席者	7月出席率
19名	メン 13名	72%
内功労会員	メネット 7名	(含メイキャップ)
1名	コメット 0名	前月出席率
合計 19名	ゲスト 3名	74%
	合計 23名	

7月分BFポイント

切手 0円	現金 0円
本年度累計	
切手 0円	現金 0円

8月27日(火)第2例会 19:00～

- ◎9、10月例会の詳細確認
 - ◎今年度例会スケジュール確認
 - ◎その他事務連絡
- 第2例会においても、重要な議題を協議し
決めてゆきます。都合をつけて出席をお願い
します。

会長 進藤啓介 副会長 長内建佑 井出 浩 会計 森 章一
書記 鶴丹谷剛 山本亮司 連絡主事 山本亮司

口座番号 三井住友銀行三宮支店 普通預金No. 1494643 名義人 神戸ワイズメンズクラブ 会計 橋本正晴
例会：第1例会 毎月第2火曜日 18:30 第2例会 毎月第4火曜日 19:00

会長メッセージ 2013年YMCAパートナーキャンプ in 余島

進藤啓介

7月28日から8月1日迄、福島の子供たち40名を余島に招いてのパートナーキャンプが開催されました。昨年までは三菱の支援を受けてのキャンプでしたが、今年からは神戸YMCAが皆さんの支援を受けての独自のキャンプとしては、初めてのキャンプとなります。例年のように、私も福島一岡山間の子供たちの引率にあたらせていただきました。

余島での三日間の短いキャンプでしたが、コープこうべの保養キャンプ33名の子供たちと一緒に行動するわけですが、子どもたちの送迎の中で大きなエネルギーを今年もありがたく頂きました。余島に向かう時の子供たちの緊張感、帰りの充実感を今年も感じながら楽しませていただきました。お孫さんを送りだされたお祖父

ちゃんと福島で話す機会がありました。「子どもは、不安でも広い世界に出たほうがいいですね。帰って来たこの顔を見て、つくづくそう思いました。特にまだ福島では自由に遊ばせられません。外での運動もままなりません。」とのことでした。我々も息長く、YMCA活動を応援したいと思います。最後に一枚子どもが絵を描いてくれました。似てますか？



武田寿子理事長感謝会

尾上尚司

2002年から11年間の長きにわたり、公益財団法人神戸YMCAの理事長の役割と、会員運動としての神戸YMCA会長を担ってくださった武田寿子先生が名誉理事になられ、6月1日より、それまで副理事長として団体を支えてくださった、中道基夫様が新しく理事長に就任くださいました。同時に会員運動体の会長にもご就任ということになります。

武田先生の、同盟での役割など、まだまだYMCAでのご奉仕は継続されますが、この11年間のお働きに感謝を表す機会として、標記感謝会が、7月6日(土)、クラウンプラザホテルにて開催され、60人を越える仲間が集まり、みんなの気持ちをお伝えしました。

今井鎮雄顧問ご夫妻もご出席くださり、賑やかなひと時となりました。

神戸クラブからは、井出メン、鶉丹谷メン、大塚メン、大塚メネット、川崎メン、京極メネット、橋本メネット、山口メン、そして尾上が司会者として、総勢9人が出席させていただきました。

会のお開きは武田先生より、皆様の支援に対する感謝とともに、そのお働きを支えてくださったパートナーの武田建先生への感謝が述べられ、一同深く感じ入った会になりました。

なお、6月からは川崎孝子さん、進藤会長が新しく公益財団の理事に就任し、新理事長を支

えていただくこととなります。また井出メンは社会福祉法人神戸YMCA福祉会の評議員に、森メンは学校法人神戸YMCA学園の理事に、そして多くの神戸クラブ関係者が委員として、またボランティアの中心として役割を担い続けていただきますし、武田先生からも多くの期待を寄せられています。

「第2回ふくしま・神戸子どもプログラム」を今年も支援

山口 徹

東日本大震災より2年を経過してなお放射能汚染の不安と恐怖の中で過ごしている福島の子供たちと家庭を支援する活動として昨年より開催された「ふくしま・神戸子どもプログラム」第2回目が7月24日～30日まで行なわれた。FNH(旧葺合・灘・東灘の各区)12日本キリスト教団教会牧師が母体となっているこのプログラムに当ワイズもできうる奉仕、募金、祈りをささげた。

今年は、メイン会場を神和教会とし、近隣教会、信徒宅でのホームステイ、芦屋運動公園、森林植物園、王子動物園、プール、水道筋商店街夜店等の体験を10組38名が参加された。進藤会長をはじめとして何人かのワイズメンズも酷暑の中、ご協力いただきました。ささやかな協力でありましたが、地域奉仕事業の一環として取り組めたことを心して更にクラブとして努力をしていきたい。

＜今月の聖句に添えて＞

7月2日～4日、白浜で京都・大阪両教区の合同牧師会が開かれました。約40人の参加でしたが、皆さんのお話の中心は現在の教会が抱えている問題でした。働き手（牧師）を志願する人が少ないのが実情で、今は一人の牧師が二つまたは三つの教会を兼牧している。これは聖公会に限らず多くの教団・教会でも同様の問題があると聞いています。

（山根貞夫司祭@神愛修女会・深和ホーム）

13-14年度クラブ総会例会の報告

大塚章信

7月はキックオフでもあり、総会例会となりましたので以下報告いたします。

進藤会長より過ぎました一年を振り返り、

①YMCAと、ユースとの接点をより密接にすること、②クラブのメンバー全員参加でクラブを躍動させること、③IBC、DBCとのさらなる交流、④地域活動の具体的なプランの模索を進めた。これらの成果がEMCの活性化につながりそれを支えるのがファン活動だと信じて、一年の活動報告がされた。活動内容詳細は会長より配布された資料を各自参考にしてください。

事業活動費予算/決算は、森会計担当より報告があり承認されました。

長内メネット会長よりメネットワイズの応援団として、神戸YMCAのプログラム支援の報告も聞き感謝しました。尚、神戸メネットクラブは16回西日本区大会でメネット事業「優秀賞」を受賞されました。メネットの皆様おめでとうございます。

13-14年度も引き続き進藤会長・長内メネット会長が重任を負われることになりました。以下神戸クラブの新年度方針についての報告です。会長主題：「クラブの伝統を踏まえ、それぞれの役割を愉しみながら、全員参加で、新しい「顔」を皆で作ろう。そして、クラブに、沢山の新しいメンバーを入れよう。」

各事業委員長・委員の目標（詳細は会長配布の資料をお読みください）

1. Yサ・ユース：川崎孝子委員長 美崎 晋
「ユース支援とYMCA理解を高める」
2. 地域奉仕・環境事業：
山口徹委員長 菅原 進
「何かしなくては・・・もう一歩前進」
3. EMC：鵜丹谷剛委員長

「新たなクラブ活動の創設に向け新しいメンバーの増強を！」

4. ファン：長内建佑委員長

「ファンを通じて、クラブへの帰属意識を高め、楽しい仲間」

5. 交流：城 純一委員長 大塚章信

部内各クラブとの交流・IBC&DBC交流

6. 広報：井出 浩委員長

「会員同士の総合理解の促進・クラブ紹介リーフレット作成」

7. メネット 長内靖子会長

・メンの活動をサポートしYMCA活動に奉仕する

・メネットの絆を深め、楽しく奉仕活動を楽しみましょう

今年メネット会は、第17回西日本区大会でメネット最優秀賞を目指します！！

8. 会計報告：森 章一 会計担当より新年度事業計画に対し予算案が提案され承認されました

以上、雑駁な報告になりましたが記録者として二点感謝を記します。一つはクラブ会長・メネット会長として一年間のご奉仕と、引き続き一年のお役に感謝を申し上げます。二つ目は、和歌山県・信愛修女会「深和ホーム」から、月々の聖句と解説をお届けくださった山根貞夫牧師に、会員一同で心から感謝申し上げます報告いたします。

お知らせ

▼地域奉仕事業

古本集めで運営資金に協力を!!

障がい者のための作業所「ネットワーク神戸」が今後の運営資金のための古本集めを始められました。当クラブとして下記の要領で協力をしたいと考えます。

●1回目回収 9月末まで

●集めたい本

実用書：資格・語学・法律・政治・宗教・健康・美容・病気・ダイエット・自己啓発・趣味系・スポーツ・芸能・ファッションなど

雑誌：大きいめの女性雑誌・鉄道・特化物など

専門誌：政治・経済・法律・医療・福祉など
児童書

以上、各メンバー宅で回収くださって、山口メンまでご連絡下さい。取りにご自宅までお伺いいたします。



Kobe Menettes

Declared March 10・1965

初孫たんじょう顛末記

山本洋子

私事ですが、6月13日に長女に女の子が産まれました。初孫です。子どもが大好きな娘夫婦ですが、なかなか子宝に恵まれませんでした。

今まで何度か流産を経験して、その辛い思いを乗り越えて授かった命に喜びもひとしおです。

安定期に入ってからでも途中でもしやと、つい後ろ向きな考えがよぎって不安もいっぱい、なかなか手放しで喜べませんでした。

そんな中、胎児の様子や心音を記録したDVDの映像を観てはまだみぬ孫との対面の時を想像しながら、ただただ無事の出産を心待ちにするのみでした。

お腹の赤ちゃんが逆子になった時は、体操はもちろんのこと、お灸や整体が良いと聞いてはいろいろ挑戦していたのですが、最終的には主治医の逆子大逆転施術のおかげでもとに戻すことができました。これは本人にとってかなり苦痛を伴うものだという事、先生にとっても大変なエネルギーが必要なものと初めて知りました。

その後母子ともに順調でしたが、予定日が近づくとつれて何となくそわそわと落ち着かない日々で、予定日を過ぎて何の兆しもなく、初産は遅れがちと聞いてはいましたが、帝王切開も避けられないタイムリミットぎりぎり、2週間遅れて産まれました。

分娩室では陣痛が始まってなかなかお産が始まらず、気力も失せかけている娘に独自の呼吸法でリラックスできるようにと先生や助産師さんが穏やかに語りかけてくださる言葉に不安と緊張が和らぎどれだけ勇気付けられたことでしょう。出産に立ち会った婿は、普段信仰心のない自分がこんなにも祈り続けたことはなかったと感想をもらしていました。

無事に産まれて安堵したのですが、その日の夜に新生児低血糖症と判り、点滴治療が必要となり急ぎで総合病院の新生児センターに搬送されることになりました。産まれて間もないいたいけな子が救急車に乗せられたと聞いて心配と同時にかわいそうで心が痛みました。母子が離

ればなれの4日間でしたが検査結果も良好で退院が許されました。かわいい小さな手の甲の注射のあとが痛々しかったのですが、何事もなかったかのようにすやすやと気持ちよさそうに眠っている姿に癒され、母親に抱っこされて母乳をのむ姿を見て胸が熱くなりました。

やっとこさこの世に生を受けたこの赤ちゃん、なかなか命名してもらえず外野の私たちがやきもきました。しばらくは名無しの権兵衛さんならぬ名無しのごん子ちゃんと呼んで語りかけていました。出産してほっとしたのもつかの間、手元に赤ちゃんがいない不安をかかえて娘夫婦がゆっくりと話し合う余裕がなかったのでしょう。候補はいくつか挙げていたようですが、出生届期限間に晴れて友乃（ゆの）と名付けられました。

孫の誕生で、夫からの会話が増え、夫から労いの言葉がかかるようになりました。子はかすがいいと思いますがさしずめ私たち夫婦にとって、孫はかすがいいといったところでしょうか。

小さな命を授かり、温かく穏やかな空気に包まれています。まわりのみんなを優しくしてくれる小さな存在。宝物の命を大切に、感謝を忘れず、すみよい社会と平和を願わずにはおられません。

